

INFO@g.shunan.ed.jp

周南市教育研究センターHP



ICTを活用する

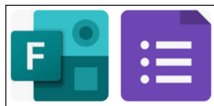
ICTを活用するとは、「同じものを繰り返し入力しない」つまりDX、デジタルトランスフォーメーションの活用です。

例えば、MicrosoftやGoogleは、クラウド環境の整備に伴い、表計算のExcelやGoogleスプレッドシートのデータ

は、個々がフォーム送信して、それを収集、加工すればよいと考えているようになっています。

基本的には「表」はフォームデータで作成するというものです。

周南市教育研究センターでは、各校の希望により次の内容を提供できるようにしましたのでお知らせします。



下図の内容にはGoogle、Microsoft、Appleのロゴがあります。



Excelではマクロのように、Google Apps Script (GAS)を利用しているものがあります。これは、iPadでは動作しませんので、Appleのロゴがありません。

Google Apps Script (GAS) 使用はiOSでは動作しません



バーコードリーダーが必要

バーコードリーダーが必要

Appleのロゴのあるものは、関数だけでできていますので、iPadで利用できます。

多くは、同じしくみを使っています。

全体、学級別表示、さらに出欠席連絡や健康観察は、確認時間を表示させています。

これまで、出欠席連絡を電話連絡で受けていた学校は、そのまま継続し、電話の横にGoogleフォームを立ち上げたタブレットを置きます。

先生は電話を受けなが

らフォームの該当部分をタップします。

所定の用紙に記録していただくようにして、まず慣れてみることです。

メモの受け渡しや書き写し等は必要もなく、出欠席状況の電子化、見える化が可能になります。

健康観察では、児童生徒は、出席番号と症状ボタン、送信の3ステップだけです。

導入当初は、各教室で、例えば保健委員がこれまでのように健康観察表の記録と併用しても良いでしょう。

Googleフォームの「回答」ページに示される「症状別グラフ」を見れば、全体像を把握できます。

次の図は、健康観察の学級別回答シートの一部です。

01/27			
教室確認	保健室入室	早退確認	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9:51
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	9:51

教室確認の欄は、学級での症状確認のチェックです。

その後、保健室に来室したり、早退したりすれば、それぞれチェックします。その時間が表示され、「健康管理」に役立

ちます。

入賞・資格・活動の記録では、児童生徒は出席番号、大会日、大会名、規模、種目等の必要事項を送信します。

例えば、団体競技で入賞したときは大会名以外を送信させ、大会名は先生が回答のGoogleスプレッドシートに入力します。あとは、人数分セルをコピーすれば、大会名のばらつきは防げます。

次の図のように各学級別に表示して、例えば「通信簿」の「記録欄」にコピー、ペーストできるようにしています。

2年 1組 ー該当学年、組の数字をそれぞれ入力します。			
番号	児童生徒コード	生徒氏名	受賞記録
1	2101	徳山岐山	パソコン西日本大会、コンクール団体(団体戦、グループ等)っつ 2023/12/26
			空手県大会個人相手の部秋季大会優勝 2023/12/25
			空手全国大会個人相手の部大会優勝 2023/12/25
			周南市団体(グループ)っつ 2023/12/25

今後、中学校で地域スポーツクラブの導入が進めば、その記録や資格取得の賞状、認定証を持参させ、傍らで入力、送信させます。もちろん自宅からでもできます。先生は回答シートと持参物との確認をして「確認済み」のチェックを入れます。※そののみが表示されます。

周南市教育委員会
周南市教育研究センター
ICT教育推進室
ICT教育アドバイザー

知っておきたいICT

<児童生徒アカウント>

フォームを使う場合、出席番号が1年1組35番の場合、「1135」、あるいはsで始まる児童生徒アカウントの数字部分を送信するようにしています。

回答シート内で番号と氏名を結びつけ、照合しています。「そこにあるものを再び打たない」というDXの理念です。

しかし、4桁は誰でも打てますから、健康観察、授業評価など、本人がいる場

面で利用し、出欠席等は8桁を利用するようにお願いしています。

この他、電子版ToDo型「生活ノート」を作成しています。GoogleClassroomでPDF配信して、電子書き込み後、提出、確認返信することもできます。